



新しい生活様式での学校生活

通常の登校が始まり3週間が過ぎました。19日から緊急事態宣言の全面解除ということで、全国を対象に都道府県をまたぐ移動の自粛も緩和されました。解除と言っても収束ではなく、まだまだ正常な状況ではないという意識をもつことが大切です。

学校でも新しい生活様式を重視した学校生活を営んでいます。その中で重要なキーワードは「マスク」

「ハンカチ」「手洗い」「換気」「消毒」です。

登校してから最初に行うことは「手洗い」です。入念に手を洗うのは勿論のこと、「最後にしめるハンドルにも石鹸を付け、手洗いの最後にハンドルの石鹸を水で落とし、しめる」という実践をしています。ここでハンカチが絶対必要になります。



教室ではできる限りのソーシャルディスタンスに努め、体育以外はマスクを付け学習しています。意見交流などではできるだけ短時間で

行うなど、感染リスクの低減を図りながら実施しています。定期的な換気も忘れません。給食も手洗いや飛沫の防止の徹底を図り進めています。

以前お知らせしました通り6/1から日課を一部変更し、長い休み時間を10分ずつ伸ばしました。密に気を付けながらの外遊びが始まり、

子どもたちの元気が学校に戻ってきたようです。勿論遊びの後には全員手洗いです。放課後の先生方による消毒で、1日の終わりに向かいます。



シチズンシップを育む「おびひろ市民学」

今年度から帯広市の全小中学校で行う「おびひろ市民学」は、様々な体験的学習から帯広のよさを知り「ふるさと愛」を醸成するメニューと、成人年齢や選挙権取得年齢の引き下げ等に合わせ、政治的・経済的な分野の学習も早期に開始し、社会で生きる

資質・能力を育むメニューから構成されています。愛するふるさとへの発展に貢献しようと



する「市民性」の育成が大きな目的です。

新型コロナウイルスの感染は、人間の環境破壊等が大きな原因と言われていています。ウィルスから人間に近づいてきたのではなく、人類から離れたある一定の環境下で生息していた彼らに、環境破壊や自然の摂理を乱すような行動により近づき、自らを新しい宿主として紹介するという最悪の結果をもたらしてしまったのです。

環境破壊等が人類にどれ程深刻な影響を及ぼすかを、子どもたちは現在身をもって経験しています。新しい生活様式を一人一人が身に付け、みんなで守り合うことが必須なこの情勢。大切なふるさとを、もっと俯瞰的に言うと「宇宙船地球号」を持続可能に未来へつなげていくための資質・能力の素地を、今こそ子どもたちの中に育てる時だと考えます。それが「シチズンシップ(市民性)」であり、その学びのプログラムとなるのが「おびひろ市民学」です。本校では各教科等の中にちりばめられているシチズンシップ育成に必要な「意識・知識・スキル」の要素を整理し、一覧表を作成しています。おび学とともに教育課程の中に「シチズンシップ教育」を位置付けています。

朝の見守り活動も新たな姿へ

新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮する中、保護者地域の皆様のご協力により助けていただいたことがたくさんあります。朝の見守り活動への対応もその一つです。

新学期を迎えようとした4月、朝の見守り活動をどんぐりの会の皆さんにお願いするのは、コロナ禍では難しいという判断をいたしました。その



時、いかにどんぐりのみなさんに頼っていたかを実感しました。例年入学式からの2週間

はPTA3役にご協力を頂くことになっていましたので、お忙しい中お手伝いいただきました。3役以外の方からのご協力も大変ありがたいものでした。そして2週間後長い臨時休業へ・・・

分散登校が始まる際には休業前にお手伝い頂いていた方々が、活動を継続してくださりととても助かりました。その後新たに協力者募集のお知らせをしたところ、以前より多くの方から承諾をいただき、今後の見通しが立ってきました。



道の休業要請が解除になって2週間経ったことから、どんぐりの会の皆さんにも活動を再開していただきました。これからは見守り活動も「してもらおう」から「自分たちで行う」新たな姿にアップデートして行けるとありがたいです。

自分も友達も大切に!!

一人一人守ることが、みんなを守ることに

- ・毎朝の検温で、しっかりと健康管理をする
- ・マスクとハンカチ、マスクを入れる袋（ジップロック等）を忘れずに持ってくる
- ・手洗いや人と距離をおくことを大切にする

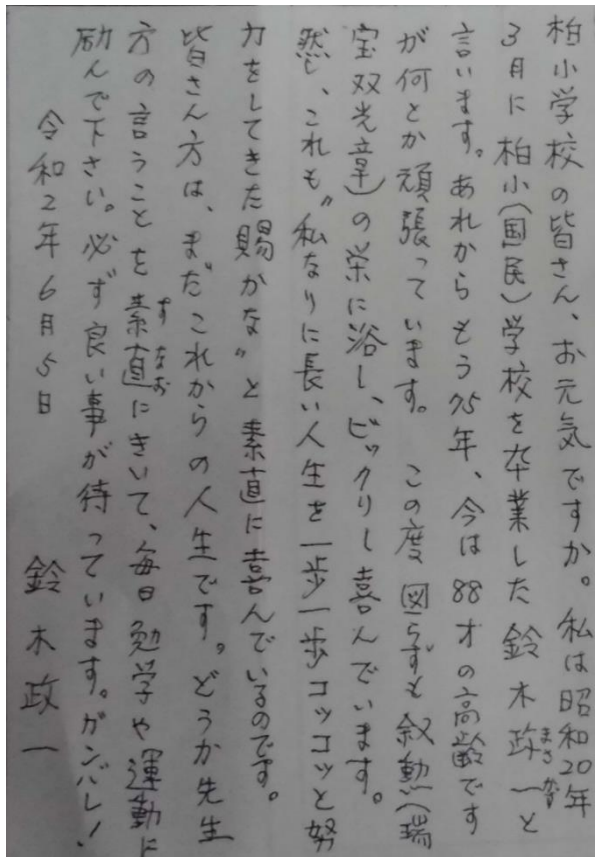
いじめは絶対にしてはいけない

- ・自分も友達も大切にすること、自分がされて嫌なことは人にしてはいけないということ

大先輩からのお手紙

先日、年2回の国家行事である春秋叙勲・受賞者の顕彰活動を行っている日本叙勲者顕彰協会から学校に封書が届きました。「柏小學校を卒業された方が、この春に瑞宝双光章を受賞されたので、是非子どもたちに生きた教材としてご紹介ください」という趣旨のお手紙で、受賞されたご本人から子どもたちに向けたメッセージも同封されていました。

本来であれば、柏樹集会で子どもたちに紹介したいところですが、現在新型コロナウイルス感染防止のためそれもままなりません。そこで、大先輩の功績を多くの方に喜んでいただきたく、学校便りでお知らせいたしました。鈴木政一様、おめでとうございます。



がんばる柏っ子!!

「がんばる柏っ子」の今年度第1回は、子どもの詩「サイロ」に入選し、掲載されたお友達の紹介です。これからもよい詩をつくってください。



子どもの詩「サイロ」
令和2年度五月号
入選「パーティーパーティー」
二年 くん